



第150回 多可町定例記者会見

令和4年9月26日(月) 午後1時30分～
多可町役場本庁舎 401会議室

1. 町長あいさつ

2. 案 件

◆記者発表事項

- (1) 定住推進課より ・・・P.1
「多可町で暮らそう」移住希望者向け体験ツアーの開催
- (2) 産業振興課より ・・・P.2
日本酒フェスタ 2022 の開催
多可町産ヒノキ製職員用名札配布による地域産木材利活用・普及啓発事業
- (3) 生活安全課より ・・・P.7
フードドライブ
「大切な食♡」～地産地消で町を元気に！～社会教育、消費生活講座の開催
- (4) 商工観光課より ・・・P.9
多可町まるごとスタンプラリーの開催
- (5) 図書館より ・・・P.10
「ストーリーテリング講座」受講生募集
「図書館カード」と「マイナンバーカード」の連携

◆その他の機関

- (6) 多可町商工会より ・・・P.12
スタンプたからラリー(商工会青年部)
学校給食「多可町っ子いきいき献立」から生まれた新商品(ナチュラル)
- (7) NPO 法人チイプロより ・・・P.14
やちにしドロ～ン城(ドローン飛行場)オープン
- (8) 兵庫県立なか・やちよの森公園より ・・・P.15
『野生と生きものと共生』についての講座開催

3. 質 疑

4. 次回のお知らせ

◆第151回多可町定例記者会見

と き 令和4年10月24日(月) 午後1時30分～
ところ 多可町役場 401会議室
問合先 企画秘書課 TEL (32) 2381

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年9月26日	定住推進課	小西 幸子	0795-32-4776

事業(行事)名 「子育てするならダントツ多可町！」体験ツアー
日時(開催期間) 10月15日(土) / 10月22日(土)の2回開催
場所 多可町内 古民家空間 kotonoha (定住コンシェルジュ宅) / 子育てふれあいセンター
趣旨または目的 人口減少および空き家の増加、少子高齢化などに伴う地域の活力低下など、日本全国で様々な課題を抱えているが、多可町も同様である。そのため、多可町では「子育てするならダントツ多可町！」というスローガンを掲げて、子育て世代に移住定住をしてもらえる施策を推し進めている。 その施策の魅力を、町内在住の現役の子育て中のお父さん・お母さんが自ら語り、移住希望者が移住前に多可町内のそうした人たちと友達になれる仕組みを構築する。また、住民自らがこうした課題を自分のこととして認識し、自分たちにできることを考えるきっかけとする。
内容 地元の食材を使用して、「古民家空間 kotonoha」の厨房を使用して、地域の食材を使った料理を作って一緒に食事をするにより、何でも話し合える関係性を構築する。 その後、子育てふれあいセンターに移動して、定住コンシェルジュが移住についての話(物件選びや村つきあいなどについて)をし、地元の子育て中のお母さんから「子育てするならダントツ多可町！」の魅力について、スライドを使いながら自らの口で説明をする。また、彼女たちが多可町に移住してきた子育て世代の保護者からメッセージを集めて、多可町での子育てについてのリアルな情報も集めていただいている。 説明後、センターの子育てコンシェルジュである岡本美紀先生や役場職員も交えて、参加者の不安が解消できるように相談会を行う。
参考資料など チラシ

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年9月26日	産業振興課	遠藤任紀 石丸典子	0795-32-2388

事業(行事)名

多可町・日本酒フェスタ2022

日時(開催期間)

10月2日(日) 午前10時00分～午後4時00分

[試飲会] 午前10時30分～午後3時30分

場所

多可町文化会館(ベルディーホール)

趣旨または目的

多可町にゆかりのある酒蔵による試飲会等のイベントを開催し、町内外に広く発信することで、多可町産山田錦を使った日本酒、多可町産山田錦の消費拡大を図るほか、山田錦のブランディング、山田錦を軸とした更なる地域農業の活性化、地域産業の賑わいと観光振興等への波及を試み、まちづくり等の推進を図ることを目的とする。

内容

- 1 山田錦の消費拡大の創出
 - ・ 多可町ゆかりの酒蔵による試飲会、物産販売、啓発
 - ・ MissSAKEの活動報告
- 2 まちの賑わいの創出
 - 特産品開発グループ等による特産品販売
- 3 文化、交流の創出
 - ・ サプライズゲストに、山田錦PR大使で歌手の加藤登紀子さん(以下「登紀子さん」という。)の登場
 - ・ 登紀子さんと生産者等との座談会「山田錦談義」
 - ・ 登紀子ブランド酒のお披露目
 - ・ ジャズライブの開催(ベルディーホール自主公演事業とのコラボ)
- 4 その他
 - メディア等への情報発信

参考資料など

- ・ 多可町・日本酒フェスタ2022 実施要領
- ・ タイムスケジュール
- ・ チラシ

多可町・日本酒フェスタ 2022 実施要領

1 目的

多可町（以下「町」という。）は、山田錦発祥のまちであり、2006（平成18）年には自治体として全国で初めて「日本酒で乾杯の町」を宣言した。町では、多くの農家が日本一の酒造好適米である山田錦の生産に携わり、多可町産山田錦は、全国各地の酒蔵の日本酒づくりを支えている。また、オンリーワンのまちづくりの取組の一つとして、昨年まで加藤登紀子日本酒の日コンサートを催し、さらには、地域資源である山田錦のブランド力をさらに高めるための特別米の栽培にも取り組み、町内外への情報発信にも広く努めている。

今回、町にゆかりのある酒蔵による試飲会等のイベントを開催し、町内外に広く発信することで、多可町産山田錦を使った日本酒、多可町産山田錦の消費拡大を図るほか、山田錦のブランディング、山田錦を軸とした更なる地域農業の活性化、地域産業の賑わいと観光振興等への波及を試み、まちづくり等の推進を図ることを目的とする。

2 事業主体等

(1) 多可町山田錦発祥のまち実行委員会

中町山田錦部会、加美山田錦部会、八千代山田錦部会、多可町農会長会、多可町観光交流協会、多可町文化会館運営評議委員会、有識者（加西農業改良普及センター、山田錦語り部）で構成する。

みのり農業協同組合多可営農経済センター、多可町産業振興課は事務局。

(2) 出展団体

ア 多可町ゆかりの酒蔵（試飲会、即売会）

イ 特産品グループ（町の特産品の出店）

ウ 山田錦部会（PRブース等）

エ ジャズライブ（ベルディーホール自主公演事業とのコラボレーション）

3 事業名称

多可町・日本酒フェスタ 2022

4 事業の開催日時及び場所

(1) 日時

令和4年10月2日（日） 午前10時00分から午後4時00分

- ・ 受付開始 午前10時から
- ・ イベント・試飲会開始 午前10時30分から

(2) 多可町文化会館（ベルディーホール）

- ・ 屋内 大ホール、ステージ、ロビー
- ・ 屋外 噴水広場

5 事業内容

(1) 山田錦の消費拡大の創出

- ・ 多可町ゆかりの酒蔵（15蔵）による試飲会、物産販売、啓発
- ・ MissSAKEの活動報告

(2) まちの賑わいの創出

- ・ 特産品開発グループ等による特産品販売

(3) 文化、交流の創出

- ・ サプライズゲストに歌手の加藤登紀子さん（以下「登紀子さん」という。）の登場
- ・ 登紀子さんと生産者等との座談会
- ・ 登紀子ブランド酒のお披露目
- ・ ジャズライブの開催

(4) その他

- ・ メディア等への情報発信

【多可町・日本酒フェスタ 2022】 タイムスケジュール

と き 令和4年10月2日（日） 午前10時～午後4時

ところ ベルディーホール

2022.9.20

時間帯	全体	舞台上	ホール内	備考
～ 10:00		ジャズライブ リハーサル	蔵元準備	
10:00	開場・受付 開始			
10:30		開会 あいさつ・祝辞 紹介等		
		鏡開、 ブランド酒紹介	試飲開始（調整）	鏡開後（11：00頃）
11:30		座談会「山田錦談義」		酒蔵2社、 生産者（代表者1名）、 MissSAKE 兵庫代表、 サプライズゲスト
12:00		（ジャズライブ準備）	蔵元紹介 <パートⅠ>	
12:30		ジャズライブ （1回目公演）		
13:00			蔵元紹介 <パートⅡ>	
13:30		ジャズライブ （2回目公演）		
14:00		（MissSAKE 準備）	場内インタビュー等	
14:15		MissSAKE 活動発表		
14:45		（ジャズライブ準備）	場内インタビュー等	
15:00		ジャズライブ （+コーラス） （3回目公演）		
15:30		閉会	蔵元販売終了	
16:00	閉場			

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年9月26日	産業振興課	成瀬 敦	0795-32-2388

事業(行事)名

多可町産ヒノキ製職員用名札配布による地域産木材利活用・普及啓発事業

日時(開催期間)

9月20日(火)～

場所

—

趣旨または目的

地域産木材「多可町産ヒノキ」の活用と普及啓発

内容

地域木材活用および普及啓発の一環で、多可町産ヒノキ製の名札を作成し、役場の正職員213人に配布。

日常業務の使用に加え、会議、イベント、出張時など、多可町産ヒノキのPRに役立つ機会での活用を推進している。

名札からはヒノキの良い香りがし、木のぬくもりも感じられ、職員にも好評。所属課名をあえて印字せず、異動しても長期で使用できる。また、クリップを回転式にすることで着用方法に汎用性を持たせ、幅広く使用できるよう工夫している。

参考資料など

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年9月26日	生活安全課	内藤実紀 今中里美	0795-32-4777

事業(行事)名 フードドライブ
日時(開催期間) 10月18日(火) 午後3時～6時 ひょうたんや 10月19日(水) 午後3時～6時 エーコープ近畿かみ店 10月20日(木) 午後3時～6時 エーコープ近畿かみ店 10月18日(火)～25日(火) 午前8時30分～午後5時15分 生活安全課
場所 18日 ひょうたんや(多可町中区森本196-4) 19日 エーコープ近畿かみ店(多可町加美区寺内90-1) 20日 エーコープ近畿かみ店(多可町加美区寺内90-1) 18日～25日 多可町役場 2階 生活安全課
趣旨または目的 日本の家庭での食品ロスは年間約247万トン、一人あたり1日にお茶碗1杯分の食料を捨てている計算になります。食料の多くを輸入に依存しているにもかかわらず、大量廃棄されていることが問題になっており、事業者、行政、住民などそれぞれの立場で食品ロス削減に取り組む必要があります。 多可町としてフードドライブに初めて取り組みます。回収場所として、生活安全課窓口のほか、スーパー(ひょうたんや・エーコープ近畿かみ店)に協力していただけることになり、スーパー店頭での回収を行います。 回収した食品は「NPO法人フードバンクはりま」を通じて、食料を必要とする方に届けます。 また同時に、食品ロス削減のための冊子やグッズを配り、食べ物を無駄にしない意識を住民の方に持っていただくように啓発します。
内容 スーパーの店頭でフードドライブを行う(3日間) ※対象食品などは別紙ちらし参照(食品のほか、一部の日用品も対象) 食料は「NPO法人フードバンクはりま」を通じて、食料を必要とする方に届けます
参考資料など 別紙チラシ参照

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年9月26日	生活安全課	内藤実紀・今中里美	0795-32-4777
	生涯学習課	小西小由美	0795-32-5122

事業(行事)名

令和4年度社会教育講座／消費生活講座
「大切な食♡」～地産地消で町を元気に！～

日時(開催期間)

10月22日(土) 午後7時～8時30分

場所

加美コミュニティプラザ 大ホール

趣旨または目的

社会教育講座／消費生活講座として、生涯学習課と生活安全課が合同で開催します。我々が毎日何気なく消費している「大切な食」についての講座です。まず日本の食糧自給率、食料の産地や流通経路、フードマイレージについて学びます。また地産地消による食の確保や、旬産旬消による消費によって、地域経済をまわし、町を元気にする具体的な取り組みを紹介します。

持続可能でよりよい世界を目指すSDGsの目標の中にも、『2. 飢餓をゼロに』、『12. つくる責任 つかう責任』等が掲げられており、これからの社会が目指すべき目標になっています。多くの住民と共に「食」を通して、様々な環境問題や個々の消費生活行動について考えます。

内容

講座名：『大切な食♡』～地産地消で町を元気に！～

講師：中井玲子さん 兵庫大学 健康科学部 栄養マネジメント学課 教授

定員：90名(先着順)

申込方法：チラシ申込用紙、メール等(別紙チラシ参照)

参考資料など

別紙チラシ参照

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年9月26日	商工観光課 (多可町観光交流協会事務局)	北藤 静	0795-32-4779

事業(行事)名

多可町まるごとスタンプラリー開催

日時(開催期間)

令和4年10月1日(土)～令和5年1月31日(火)

場所：多可町内

趣旨または目的

多可町観光交流協会企画部会主催、多可町商工会協賛で町内事業所等の利用者の増加と売り出しポイントや強みなど個々に違うものをひとまとめにした「多可町まるごとスタンプラリー」を開催する。今回で4回目。多可町への誘客・観光PRだけではなく、店舗・事業所を利用してもらうことで多可町の魅力発信に繋がることを目的に実施する。

1. 開催内容

開催期間：令和4年10月1日(土)～令和5年1月31日(火)

開催内容：期間中、各店舗・事業所で1回のご利用500円以上でスタンプ1つ押印。
スタンプの数によって、応募できるコースが異なります。

参加店舗数：町内27店舗・事業所

抽選会：令和5年2月初旬

応募コース・当選数：

- ① まるごとコース・・・全店舗・事業所のスタンプ

抽選で1名様にお好きな賞品合計30,000円分をお選びいただきます。

- ② ハッピーコース・・・10店舗・事業所以上のスタンプ

抽選で3名様にお好きな賞品合計10,000円分をお選びいただきます。

- ③ 参加したよコース・・・5店舗・事業所以上のスタンプ

抽選で20名様に事務局が合計2,000円分の賞品を選びます。

スタンプラリー台紙設置場所

参加店舗・事業所、多可町内関係施設、近隣の観光協会、近隣の道の駅等

2. 当選賞品

参加店舗・事業所の自慢の商品(合計金額は各コースによる)

参考資料など

チラシ

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年9月26日	図書館	依藤 啓子	0795-32-5170

事業(行事)名 ストーリーテリング講座
日時(開催期間) 10月14日(金)、11月11日(金)、12月23日(金) 全3回 午前10時～午後0時 ※原則3回とも受講できる方
場所 多可町図書館
趣旨または目的 子どもたちは昔話などの「おはなし」を聞くのが好きです。そのためにはどんな「おはなし」を語るのがよいか。子どもたちに楽しみと喜びを届けるため、語るにふさわしいおはなしの選び方や伝え方などを学びます。
内容 講師：小栗栖真弓（おぐりすまゆみ）氏 対象：高校生以上 定員：20名程度（人数が集まり次第締め切ります） 受講料：無料 申込期限：9月30日（金）
参考資料など チラシ

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年9月26日	図書館	依藤 啓子	0795-32-5170

<p>事業(行事)名</p> <p>「図書館カード」と「マイナンバーカード」の連携</p>
<p>日時(開催期間)</p> <p>9月1日(木)より運用開始</p>
<p>場所</p> <p>多可町図書館、加美図書室、八千代図書室</p>
<p>趣旨</p> <p>「図書館カード」と「マイナンバーカード」を連携することにより、「図書館カード」を携帯していなくても「マイナンバーカード」で本を借りることが出来ます。</p> <p>近隣市町の図書館でもこの方式を導入している館が多く、それぞれの館で「マイナンバーカード」と連携されれば共通の「図書館カード」として利用することが可能になります。そのため多くのカードを携帯しなくても1枚のカードで利用でき、利用者の利便性が向上します。</p>
<p>内容</p> <p>図書館カウンターで、マイナンバーカードをICカードにかざして読み込むなど事前の手続きをすると、すぐにマイナンバーカードで本が借りられるようになります。</p> <p>【登録方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. としょかんカードをお持ちの方 <ul style="list-style-type: none"> 「としょかんカード」と「マイナンバーカード」を提示 2. としょかんカードをお持ちでない方 <ul style="list-style-type: none"> 図書館利用申込書を提出し、マイナンバーカードを提示 <p>※利用者証明書用電子証明付きの「マイナンバーカード」のみ利用可能。</p>
<p>参考資料など</p> <p>チラシ</p>

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年9月26日	多可町商工会青年部	地域振興委員会 委員長 笹倉佑真	0795-23-4712

<p>事業(行事)名 5つのスタンプで景品 GET のチャンス!! 多可町内の青年部事業所を巡るスタンプたかラリー!!</p>
<p>日時(開催期間) 10月1日(土)～12月31日(土)</p>
<p>場所 多可町全域 ※一部西脇市</p>
<p>趣旨または目的 コロナ禍でも地域内で楽しめる場の提供 地域内の経済の循環と活性化</p>
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 多可町商工会青年部は多可町内に事業所をおく45歳以下の若手経営者、後継者からなり、84名の部員がいる多可町商工会の内部組織です。青年部では経営資質向上や地域振興等を目的に事業を行っています。今年度の部長は榎安田製材所の高田潤二郎さん。本事業の担当委員会の委員長は髪床和をんの笹倉佑真さん。 本事業の内容は、スタンプたかラリーの参加店舗(19店舗)に来店していただくと、スタンプを押印(1店舗1回)。スタンプを5個集めて、スタンプシートの記入欄に必要事項を記入した部分を切り取り、お店に預けることで応募が可能。2023年1月の抽選会で当選者と景品が決定(景品は選ばません)。当選者にハガキを送付し、当選者には事業所で景品を進呈します。 景品は様々な業種が集まる特性を活かして、部員の事業所が工夫して多彩な景品を用意しています。多可町に関する物も多数あり、確認用のQRコードのWEBページで協賛した事業所の紹介や景品も確認できるため、参加される方に楽しんでいただけます。 コロナ禍でなかなか外出できなかった町内の皆様が楽しめる企画を提供したいと考え、本事業を企画しました。少しでもたくさんの方に参加していただくことで、青年部員との交流や、地域経済の循環にもつながればと考えています。 このスタンプラリーを通じて多可町商工会青年部とはどんな活動をしているのか、どんな事業所が加入していて、どんな仕事をしているのかを知ってもらい、子ども達をはじめ、町内の多くの方に地域の仕事の魅力を伝え、興味を持ってもらいたいと思います。 昨今、人口減少傾向の多可町であるが、本事業をきっかけに地域の活性化につなげて、地域を盛り上げたいと考えています。
<p>参考資料など チラシ</p>

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年9月26日	多可町商工会	本庄尚哉 (当日出席：松本裕輔)	0795-32-2161

事業(行事)名

「多可町っ子いきいき献立」から生まれた新商品 (山奥の菓子工房 ナチュラル)

日時(開催期間)

9月13日(火)～ お試し販売開始

場所

山奥の菓子工房ナチュラル店舗 (多可町中区天田 195-2)

趣旨または目的

多可町の子どもたちに対する食育推進事業「多可町っ子いきいき献立」の趣旨に賛同して、メニューの一つとしてクッキーを提供した。社会貢献と思い、採算は考えずに、アレルギー体質の子どもたちにも喜んでもらえ、多可町の良さを子供たちに知ってもらえるようなクッキーの開発に挑戦した。

このクッキーには多可町の特産品も含まれているため、この機会に一般販売にもチャレンジし、お菓子で多可町をPRしていきたい。

内容

【事業について】多可町商工会

多可町から「多可町っ子いきいき献立」のデザートメニュー提供についての相談があったことがきっかけである。多可町の特産品を使ったデザートの提供は、多可町の未来を担う子どもたちに向けて、食育や特産品について知ってもらうきっかけにもなり、そして何よりも多可町でがんばっている事業者や仕事を知ってもらう機会になることから、事業者への呼びかけ協力を受けることにした。

呼びかけについては、該当事業者(菓子製造業)のみへ案内する方法もあったが、多可町の取り組み自体も、会員事業者に知ってもらいたいと思い、全会員事業者に毎月配信している「みみよりインフォメーション」に記事として掲載し、協力事業者を呼びかけた。そしてナチュラルさんから申し出があり、今回のメニュー提供となった。

【クッキーの説明】山奥の菓子工房 ナチュラル

子どもの小麦アレルギーを考慮し、小麦粉ではなくグルテンフリーの「山田錦の米粉」を100%使用している。卵も不使用で卵アレルギーの方にも配慮している。山田錦の米粉は、地元農家さんのこだわりの無農薬栽培のものを使っているため、より安心安全なクッキーとして提供することができた。

現在、新商品お試し期間中として1枚90円(税込)で試験販売している。今後さらに改良を進めてより美味しいものに仕上げ本格販売に臨み、今回のご縁をきっかけに生まれた商品として、多可町を代表するお菓子に育てていきたい。

参考資料など

記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年9月26日	NPO 法人チイプロ	三村 尚幸	0795-32-0246

事業(行事)名 やちにしドロ〜ン城(ドローン飛行場)オープン
日時(開催期間) 4月1日〜 グランドゴルフ場から業態変更
場所 多可町八千代区大和 1367 旧八千代西小学校
趣旨または目的 地域活性化、ふるさとの魅力を発信、地方創生など また廃校利用の一環として発展が著しいドローンの産業利用や教育での使用などを促す為、全天候型の専用飛行場を開場しました。 過疎地域ならではの資源を生かした取り組みとなっています。
内容 校舎や芝生グラウンド上空そして体育館内での飛行が可能です。産業用・農業・測量・空撮・そしてFPV 飛行などあらゆるニーズに対応しております。WEB サイトにて飛行日の予約から決済までネットシステムを構築し、オンラインで予約・決済が完了します。農薬散布ドローンのテスト、測量ドローンの訓練、DJI 空撮ドローンの操縦方法、消防団員の訓練の下見などが可能です。
参考資料など FACEBOOK ページ https://www.facebook.com/yachinishi.DC WEB 予約ページ https://coubic.com/dronejo NPO 法人チイプロ https://www.facebook.com/CHIIPRONPO

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年9月26日	兵庫県立なか・やちよの森公園	藤浦 薫 (事務局長)	0795-30-0050

事業(行事)名	『野生と生きものとの共生』についての講座を実施
日時(開催期間)	合計4回の開催 ①10月22日(土)・②11月3日(土:祝)・③11月26日(土)・④12月10日(土) すべての講座は、13:30~15:00開催で雨天決行
場所	兵庫県立なか・やちよの森公園 湖派の広場 研修室(多可町中区糶屋677-10)
趣旨または目的	野生の生物・帰化動物などは、私たちの生活に色々と影響を与えています。古来私たちの営みが、動物に与えていた影響を鑑みて、これからの生きもの達との共生を考えます。
■内容	<p>①篠山チルドレンミュージアムで自然と遊ぶ(湖畔の広場) NHK教育テレビ「おーい!はに丸」のデザインを手掛けられた、篠山チルドレンミュージアムの館長で兵庫教育大学教授の垣内 敬造さんをお招きして、自然と遊ぶコツなどを学ぶ講座です。</p> <p>②若い世代を巻き込んだ獣がい対策を通じた学びの場づくり(湖畔の広場) 深刻な問題となっています獣がい問題。その対策を次世代への教育という観点から神戸大学准教授の清野 未恵子さんにお話をいただきます。</p> <p>③多様な人材とともに進める獣がい対策で農村の未来を創る(湖畔の広場) 深刻化する野生動物の被害。その対策について、里地里山研究所代表の鈴木克哉さんにお話しをいただきます。</p> <p>④兵庫県におけるニホンジカによる森林生態系被害の現状と対策(湖畔の広場) 当公園周辺でもよく見られるニホンジカ。里山の現状と鹿たちの暮らしについて森林動物研究センター勤務で兵庫県立大学准教授の藤木大介さんにお話しをいただきます。</p> <p>すべての講座について 【対象】特に制限はありませんが、小学生以下は保護者同伴でお願いします 【定員】40名 【参加費】無料 【持ち物】特にありません</p> <p>※申込み開始日 ①電話・メール 9月1日午前9時~ ②③電話・メール 10月1日午前9時~ ④電話・メール 11月1日午前9時~</p>
参考資料など	